



News & Types: クライアント・アドバイザー

知的財産(IP)ポートフォリオが十分に活用されないことによって、収益を失っていませんか？

10/4/2022

By: 小林 城治

Practices: 知的財産テクノロジー

ビジネスにおいて、知的財産（IP）は時間をかけて徐々に蓄積されますが、知的財産は意図的に取得されるものもあれば、事業活動の中で自然に生み出されるものもあります。企業は経済的に価値があり、戦略的に重要な知的財産にしか関心を持たないことが多いですが、広範な知的財産ポートフォリオには、見落とされていた資産や、かつては価値があったものの、時間の経過により価値がなくなっている権利が含まれている可能性があります。このような資産を管理するには、知的財産に対する法的監査（IP監査）を実施し、自社が保有する知的財産権の真の価値を網羅的に理解し、知的財産（IP）ポートフォリオを効果的に管理しているかどうかを把握することが有効です。

IP監査のメリットとして、以下のようなものがあげられます。

- 知的財産ポートフォリオ（自社が所有する商標、著作権、企業秘密、特許、その他の知的財産等）の「スナップショット（全体像）」を経営陣に対して提供。
- 知的財産権保護からの抜け落ちを特定（例えば、知的財産権が適切に保護されているか、また、自社の成長や製品の進化に合わせて、知的財産権がアップデートされているかを確認します）。
- 潜在的なリスクの洗い出し（例えば、第三者の知的財産につき、適切に利用、もしくはライセンスされているかといった、コンプライアンスにかかわる問題や、第三者の知的財産権を侵害していないか等）
- 既存の知的財産を利活用する機会の提供（例えば、未利用または十分に活用されていない知的財産を販売またはライセンスする機会の提供、これは、時に想定を大きく超えた収益をもたらす可能性があります。）

保有または利用する知的財産のリスクおよび活用機会について体系的に精査することは、企業の利益につながります。IP監査を通じて、知的財産ポートフォリオの真の価値を理解し、最大化する方法についての詳細は、当事務所の知的財産テクノロジー部門にお問い合わせください。